

SEAラウンドトーク

アーティストは今、ソーシャリー・エンゲイジド・アートをいかに捉えているのか？
一線で活躍するアーティストによるトーク&ディスカッション・シリーズ

Vol.7

海を中心とするSEA

(= Socially Engaged Art and Southeast Asian Art)

ゲスト | ジェームズ・ジャック

2018年3月29日[木] 18:30-20:30

Socially Engaged Art - Artists Talks & Discussions Series

このトークは海からはじまります。今日社会政治の範疇では、国や国境による土地中心の歴史について主に議論されますが、これに対して、このトークは海からの視点をひらこうとします。ソーシャリー・エンゲイジド・アートにおいて、海からの視点はどのような見方を可能とするのでしょうか？人間のインタラクションを通じて海の生活を見ると、多様な文化のネットワークに光をあてることになります。そこで、ここでは社会とエコロジカルな

関係性を中心に考えた場合、アジア太平洋地域にどのような変化をもたらすかを再考したいと思います。アートワークは社会の記憶に形を与えることができます。それらは植民地時代の地域の記憶を回復する物語に力を与えるのです。ジャックによる芸術作品が、創造的なストーリー・テリングを通して、コミュニティ内とコミュニティ間のつながりを再生するために作用するプロセスをお聞きます。



プロフィール

ジェームズ・ジャック James Jack

アーティスト、ニューヨーク市出身、東京藝術大学にて博士号取得。九州大学ソーシャルアートラボ特別研究員を経て、現在、シンガポール、イェール NUS 大学講師。世界中で社会とエコロジーの壊れやすい関係性を再生することに関心をもつ。土や水、海など、私たちを取り巻く環境をテーマに場所の記憶や物語、コミュニティをつなげる作品を創っている。 展覧会は Centre for Contemporary Art シンガポール、福岡県立美術館、アジア・アメリカ・アーツセンター、瀬戸内国際芸術祭、Cheryl Pelavin Fine Art、釜山ビエンナーレ、ポートランドアートセンター、ホノルル美術館などで発表。

お申込み&お問合せ

www.art-society.com

ウェブサイト上に公開する申込フォーム
よりお申し込みください。

定員 | 20 名 (先着順)

料金 | 800円 (コーヒー/ 資料代込)

※ いただいた個人情報は、適切に責任を持って
管理いたします。

主催 |  ART & SOCIETY
RESEARCH CENTER

NPO 法人アート & ソサイエティ 研究センター
110-0005 東京都台東区上野 3-13-9 原田ビル 201

会場

BMT
上野・御徒町貸会議室

住所 |
東京都台東区上野 3-7-5
SDビル 5 階

最寄駅 |
東京メトロ銀座線
末広町駅 2 番出口 徒歩 3 分
東京メトロ銀座線
上野広小路駅 A1 出口 徒歩 4 分
都営大江戸線
上野御徒町駅 A1 出口 徒歩 4 分
東京メトロ千代田線
湯島駅 6 番出口 徒歩 4 分
JR 山手線
御徒町駅 南口 徒歩 5 分

